

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
31330	環境経済局経済部・都市建設局まちづくり事業部	企業立地推進室 都市整備課	室長 課長	武田伸彦 加藤一嘉	042-769-9253 042-769-8259
施策名	工業用地の保全と創出				

1 施策の目的

工場の撤退や縮小などを起因として跡地が住宅へと土地利用転換され、住工混在の弊害が生じるなど工業地域及び準工業地域における操業環境が悪化していることから、これを未然に防ぐとともに、その解消を図るために工業系用途地域における工場の操業環境の確保を図る。

また、麻溝台・新磯野地域などに新たな工業用地を創出し、企業誘致を図る。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

■平成17年10月に策定した「さがみはら産業集積促進方策」(STEP50)の中の「工業用地の保全に対する奨励措置」により、工業用地の継承及び工業系地区計画導入の支援を行った。

■新たな工業用地の創出を図るため、当麻、大島界、麻溝台・新磯野地区において土地区画整理事業の早期実現に向けた地権者との合意形成を進めるとともに、麻溝台・新磯野地域においては、平成19年度に地権者代表と行政等による「工業系土地利用研究会」を設置し、企業誘致方策及び工業用地の整備手法等について検討を行った。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

●**指標1~3** 工業用地の継承(15%)では、工業地域・準工業地域内において立地ニーズに見合った継承用地が少なかったことから目標値を下回った。今後、企業立地マッチング促進事業を積極的に活用するなど工業用地の情報収集に努めていきたい。また、工業用地保全(0%)では、田名清水原赤坂地区(12ha)の地権者による地区計画の導入に向けた取り組みが進められており、引き続き目標達成に向け支援を行っていきたい。工業用地創出(0ha)については、ゲームーぶどう園跡地などを工業系産業用地(6.3ha)として創出する取り組みが進められており、事業計画が円滑に進むよう開発諸手続等について支援を行っていきたい。(企業立地推進室)

●**指標4** (連絡協議会等に出席した人の割合)【25%→33.8%】

調整区域の地区計画制度導入の検討に多くの関心を得られたためと考えているが、引き続き早期事業化に向けた取組みを行い、地権者の参加増を事業化に結び付けたい。(麻溝台・新磯野地域整備推進室)

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

◆活動指標ではあるが、現状を把握できる指標として、「事業所数」と「敷地面積」を指標として加えること。

